

奥多摩日原川流域 川苔谷 逆川

佐藤

【日時】 2011年7月9日(土)

【メンバー】 L佐藤、福永

先輩方から新人同士の沢行を勧められ、1年先輩の福永さんと奥多摩に行ってみた。彼女の配慮で私がリーダーになったが入会してまだ3か月、本当に大丈夫なの？

川乗橋までタクシーで入り、20分ほど林道を歩く。聖滝が見えたのでこの滝を越えたあたりで下降し川苔谷に入溪。ほどなく逆川の分岐が現れ、最初の関門2段10m滝が登場した。思った以上に水量が多く不安になるが、ロープを出して登ってみる。滝のリードは一度しか経験がなく緊張する。上段3mでは水流右沿いが行けそうだったが、途中でもっと右端が簡単に見えたのでラインを変えたら登れなくなってしまって一度降りることに。もう一度眺めて初見どおり進めばいいことを確認して再登、今度は比較的簡単に登れた。

大釜を持つ2m滝では一度取付くが水に濡れたザックが重く、途中で力尽きドボン。後続パーティーが追いついたので先に行ってもらい休憩していたら、「引っ張ってあげましょうか」。さすが女子バ、男子が一人でもいれば絶対こんなお声はかからないのだが…リーダーの権限で「はいお願いします！」。天から蜘蛛の糸が下がってきて力強く引っ張り上げてもらった。使えるものは何でも使うのが沢の基本と教えられた通りの行動なのだ。

しかし助けてもらってばかりでは新人同士で来た意味がない。ウスバ林道直下の10m滝は自分達で登ろう。ここは遠目ではとても登れそうに見えないが、近くでチェックすると足場や残置がある。ロープを出したが見た目より簡単だ(逆行図にもそう書いてあるのだが)。

この10m滝を終えたところでタイムアップ。予定では右俣20m滝(IV級)まで行く予定だったが、今回は時間も実力もない。この先はもう少し経験を積んでから行こう。そのままウスバ林道を下り鳩ノ巣駅に到着した。

普段は何気なく後ろをついていだけだが先頭を歩くのは大違い、今まで気軽に取付いていた滝がとても厳しく感じた。しかし自分達の手で登り切った沢は充実感でいっぱいだ。

【グレード】 1級

【行程】 川乗橋 (9:30)～川苔林道下降点(9:50/10:20)～2段10m滝(10:30/11:10)～林道直下10m滝(13:40)～ウスバ林道(14:00/20)～鳩ノ巣駅 (15:40)

【地図】 武蔵日原、奥多摩湖、武蔵御岳

